



一人ひとりをもっと深く、
もっと丁寧にみる

こんな
保育

がしたかった!

要録・児童票 作成に革命!



保育AI
「こども
ストーリー」
誕生

※特許出願中





その日のこどもの姿をとらえ、こどもたちの今の興味関心を知り、
次の計画につなげていく。

よりよい保育は、日々の保育の振り返りから始まります。

それを実現するツールの1つが

写真付きの記録、ドキュメンテーション。

コドモンの「保育ドキュメンテーション[※]」はリリースから5年、
現在6,000以上もの施設で活用いただいています。

ドキュメンテーションの中には

たくさんのこどもの育ちや、たくさんのこどもの学び、
そしてそれを見つめる先生方のまなざしが詰まっています。



記録を振り返ると、 こどもたちの物語が見えてくる



過去を振り返っていくことで、こどもの育ちがわかり、
今のこどもへの理解も深まる。

「もっと丁寧に、一人ひとりのこどもと向き合いたい」

「一人ひとりのこどもの育ちを、もっと深く見ていきたい」

そんな先生たちの思いにこたえて、

「保育ドキュメンテーション」は新たな進化を迎えます。

2026年1月 保育AI「こどもストーリー」誕生[※]



※2026年1月に誕生予定の「こどもストーリー」は、おためし版になります。

※「保育ドキュメンテーション」、「こどもストーリー」は、㈱ベネッセスタイルケアグループが㈱CoDMON(コドモン)と共同開発したICTサービスです。

保育の振り返りが生み出す 3 つのよいこと



写真付きの記録、ドキュメンテーションで、振り返りを行うことは、
子どもをまんなかにして、保育者や保護者にも変化をもたらします。

point

1 子どもの育ちが 見えてくる

ドキュメンテーションでとらえるのはその瞬間の子どもの姿。中長期での振り返りで初めて、子どもの姿が、点から線になり、育ちが見えてきます。



point

2 保護者と共に 喜び合える

中長期で振り返ることで、気づく子どもの成長。これを保護者にドキュメンテーションで伝えることで、保護者と共に子どもの育ちを喜び合えます。



point

3 保育者同士の 対話が豊かに

日々の子どもの姿だけではなく、これまでの子どもの育ちも踏まえて保育を語り合うことができるようになり、保育者同士の対話が豊かになります。



column

「保育の自己評価」 中長期の振り返りの重要性

質 の高い保育の維持・向上のために、実践につながる「自己評価」が不可欠です。「自己評価」とは、保育者が、自らの日々の保育実践を振り返り、専門性の向上や保育の改善につなげるもの。まずは「毎日の保育の振り返り」が重要ですが、一定期間で自分たちの保育を振り返ることも、とても大切。

ある1日を振り返ることは「点」としての子どもの姿の振り返りです。**子どもの姿を「線」**でとらえて初めて、**その子の育ちや、その子の向かう方向性が見えてくるように思えます。**日々の子どもの姿を捉えるとともに、中長期での子どもの育ちを捉える。それが、よりよい保育へとつながっていくのではないのでしょうか？

玉川大学教育学部教授
おおまめ うだ ひろとも
大豆生田 啓友 先生

日本保育学会副会長、子ども家庭庁子ども審議会委員など歴任。TVや雑誌に多数出演。



要録や児童票
作成だけで手いっぱい。
ほんとは保護者にも
共有したいけど……

保育者の負担が大きい！

要録や児童票……

膨大な振り返り作業

保育現場で、最も負担が大きいといわれる
要録や児童票の作成業務。

これらは過去の大量の記録を振り返って

まとめる必要があります、

園運営上の課題となっています。

振り返りを
したいけど
一人1時間以上…
バが折れそう

どの記録にだれの
ことが書かれているか、
読みこまないと
わからない！

column 保育者の専門性を生かすために

保 育者自身の心が動いたこどもの姿を記録すること、こどもの興味関心やこどもたちの状況を踏まえて、次の保育を考えること。これは、保育者にしかできないことです。また、こどもの育ちを振り返り、そこから自分たちの保育について考えること。これも保育者自身が、自らの専門性を高めるために必要なこと。でも一方で、「考える」以外の「作業」が先生たちの負担になっているのも、保育現場の実実だと**思います**。これからは**保育AI**を上手に使って、**保育者のみなさんの「考える」時間を増やし、ただの「作業」の時間を減らすことが、実現されるといいな**と思います♡

★コドモンの保育ドキュメンテーションが進化★

保育AI「こどもストーリー」が、要録・児童票などの作成時間を削減！

園児一人につき1時間かかるといわれる、要録や児童票の作成の負担を大幅に軽減するAI。
それはまさに革命的！

過去最大1年分の記録、
ドキュメンテーションから

要録・児童票などの
一部を生成！



9月～11月 中山たろうくんの児童票

■ 子どもの様子

たろうくんは、この3ヵ月間で感触遊びや自然とのふれあいなど、様々なものに興味を示して育っています。晴天あそびや砂場、ボールプールでの遊びでは、はじめは慎重な様子で少し戸惑っている姿も見えましたが、慣れてくると積極的な様子で遊ぶようになりました。また、静かな環境やうれしさを表現する大人にも反応しやすくなり「あ、あ」と伝える姿が見られました。また、静かな環境に慣れ、繰り返し遊ぶ様子も観察されました。

■ 「5領域」から見る特徴的な育ち

【健康】
砂場や園山など足場が不安定な場所で、体の動きや重心移動の感覚を養い、感触遊びでは慣れも進みました。

【人間関係】
砂遊びやしゃべん玉遊びを通じて、異年齢の年長年々さんとの関わりも増え、年上の子どもたちへのあこがれや対話の機会が生まれたことで、社会性が育まれました。

【言語】
晴天、砂、ボール、片栗粉など様々な素材や自然物に触れ、その性質や変化に興味を持ち、探究心が育まれました。

【表現】
ありを指さして「ありいたよ」と伝えたり、先生や友達の名前も片言で呼べるようになるなど、言語力が向上しています。

園向け・
保護者向けに
作り分け可能

5領域・10の
姿で振り返り



先生の書いた
記録をもとに

当年度の過去のドキュメンテーション（最大1年分）を、まとめた期間、見たいクラスや園児ごとに設定します。遊びやブームの単位で設定することも可能。必要な記録だけを、AIがピックアップします。

長期間の膨大な振り返り作業を、AIがサポート。保育者が記録してきた言葉から“生きた要約文”が作成されるのもポイント。また、5領域や10の姿の観点で育ちもまとめられるので、保育の振り返りや可視化ができます。



10の姿に重ねてこどもの育ちをまとめてくれたのを見て「私がやっていることってこういうことにつながっているんだ」と、自分の保育への自信になりました。

残業しながら、複数の書類を見返して、記憶をたどっても、覚えていないことも多い。これがあれば過去の自分が記録作成を手伝ってくれる感じがして、こどもの姿もいきいきと思わせる！

AIが増えてもっと事務的な文章で機械のように冷たいと思っていたけれど、自分たちの書いた記録が生まれた要約になっていて、温かみがあって安心しました。

保育AI「こどもストーリー」 ためしてみた！

～実証研究に参加した園の声～

全国の幼稚園・保育園・こども園
30施設がこどもストーリー実証研究に参加。
実際に使った感想をご紹介します。

これぞ、AIの一番最適な使い方のように感じた。業務軽減にもなるし、保育者の学びにもなる。こどもたちとかわる時間が作れそう。

Q 「こどもストーリー」の
児童票・要録作成機能を使
ってみたいですか？

A 使ってみたい100%

「こどもストーリー」の実証研究に参加した
30施設のうち83名の保育関係者が回答。

※「とても使ってみたい」75%、「まあ使ってみたい」25%の合計 調査時期:2024年12月

ためしてみた保育者の声動画で見られる！



ドキュメンテーションは日誌にも、個人記録にも、連絡帳にも使っている。その記録をさらに、児童票や要録にも活用できるのは、業務が一元化でき、うれしい！！

今はドキュメンテーションを少ない枚数しか書けていないけど、こんな風の後でAIがまとめられるなら、こどもたち個人の記録もメモとしてドキュメンテーションに残しておきたいと思いました。

保育AI 「こどもストーリーおためし版」



よくいただくお問い合わせをまとめました。

Q AIって安全性は大丈夫？

A コドモンの安全基準をベースに外部からのアクセスを防ぐ仕組みになっています。施設の独立性も担保しており、他の園とデータが混ざることありません。

Q 申込むのに条件はある？

A コドモンICT、及び、保育ドキュメンテーション機能の契約が必要です。本サービスは、「こどもストーリー正式版」の機能検証・品質向上を目的としており、限定500施設様のための試験提供です。申込み条件詳細は、お申込みサイトの「こどもストーリーおためし版利用規約」をご確認ください。

Q 費用は？

A 「こどもストーリーおためし版」は無料で提供いたします。ただし、コドモンICTや保育ドキュメンテーションの利用料は別途必要になります。正式版ご提供時に、自動で本サービスの課金が始まることはありませんのでご安心ください。

Q キャンセルはできる？

A 可能です。「こどもストーリー おためし版」のご提供は、2026年1月を予定しておりますので、キャンセルの場合には2025年11月末までにご連絡ください。

Q 職員に説明をするサポートはある？

A 職員の方へのご説明はもちろん、本部や自治体へのご説明も専門スタッフがお手伝いします。以下の窓口へご連絡ください。

保育AI「こどもストーリーおためし版」
のお申込みはこちら



<https://x.gd/gzz25>